

根城

Nejo



写真提供：八戸市博物館

日本
100
名城

国
史跡

- ・所在地：八戸市根城字根城
- ・城主：根城南部氏
- ・年代：建武元年(1334)～寛永4年(1627)

根城は、馬淵川に面した標高約20mの台地に、建武元年(1334)、南部師行によって築城されたと伝わる中世城館です。寛永4年(1627)に遠野への領地替えで廢城となるまでの約300年間、八戸地方の中心として栄えました。昭和53年から約11年間かけて行われた発掘調査及び整備事業により、城の北半分は「史跡根城の広場」として公園整備され、本丸跡には発掘調査の成果をもとに、安土桃山時代の根城の様子が復原整備されています。



写真提供：八戸市博物館

写真提供：八戸市博物館



よく見ると
阿吽の呼吸



- 1春には155本の枝垂れ桜が一齐に咲きほころび、広場全体が薄紅色に彩られます。2桜の他にも梅や初夏の花菖蒲など季節の花や紅葉が楽しめます。3南部家の家紋「向鶴」は、胸に九つの星、九曜を抱いた二羽の鶴が向かい合い、大きく羽を広げている様子を家紋にしたものです。右の鶴は口を開け、左の鶴は口を閉じる「阿吽」を表しています。4隣接する八戸市博物館では、八戸の考古・歴史・民俗・無形資料を紹介しています。



再現された
料理に注目!



樹齢推定600年と言われる根城本丸の大銀杏。落雷を受けながらもたくましく生き延び、根城の歴史を見守ってきました。



オススメ!

確かな信念としなやかな強さで八戸と遠野を治めた女当主・清心尼を描いた歴史小説。ぜひ読んで欲しい1冊!

城主の暮らしした本丸跡には主殿や工房、納屋、馬屋などが復原され、中世当時の城内の生活が体感できる国内でも珍しい城です。

御城印を貼ってください

体験



キラキラ☆デコ八幡馬

体験工房では八戸市に古くから伝わる郷土玩具「八幡馬」の絵付け体験ができます。クラシックコース(所要時間:30分、料金1,500円)とラインストーンで可愛くデコれるアレンジコース(所要時間:90分、料金2,000円)があります。



Check Point



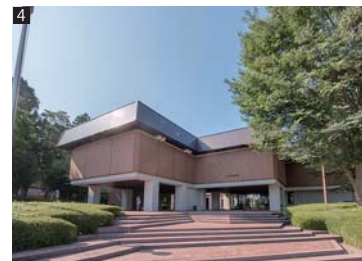
写真提供：八戸市博物館



写真提供：八戸市博物館



よく見ると
阿吽の呼吸



- 1春には155本の枝垂れ桜が一齐に咲きほころび、広場全体が薄紅色に彩られます。2桜の他にも梅や初夏の花菖蒲など季節の花や紅葉が楽しめます。3南部家の家紋「向鶴」は、胸に九つの星、九曜を抱いた二羽の鶴が向かい合い、大きく羽を広げている様子を家紋にしたものです。右の鶴は口を開け、左の鶴は口を閉じる「阿吽」を表しています。4隣接する八戸市博物館では、八戸の考古・歴史・民俗・無形資料を紹介しています。

「雀」の焼印、
みつめてね



八戸市博物館前の南部師行が跨る馬には「雀」の焼印が押されています。

根城 御城印

根城南部家第36代南部日貴氏の揮毫による史跡根城跡石碑の文字と、根城南部家の家紋「向鶴」を用いています。

なんでも
聞いてね!



ボランティアガイドが史跡根城の広場を無料で案内してくれます。期間：4月下旬～12月初旬の開場日

□史跡根城の広場(「御城印」販売場所)

住所 / 八戸市根城字根城47 TEL.0178-41-1726
開場時間 / 9:00～17:00(入場は16:30まで)
休場日 / 月曜(第1月曜・祝日は除く)、祝日の翌日、年末年始(12月27日～1月4日)
入場料 / 一般250円、高・大学生150円、小・中学生50円

□八戸市博物館(「御城印」販売場所)

住所 / 八戸市根城字東構35-1 TEL.0178-44-8111
開館時間・休館日 / 史跡根城の広場に同じ
入館料 / 一般250円、高・大学生150円、小・中学生50円
<https://www.hachinohe-city-museum.jp>



聖寿寺館跡

Syoujitateato



国史跡

- ・所在地：南部町小向字館ほか
- ・城主：三戸南部氏
- ・年代：15世紀前半～天文8年(1539)

聖寿寺館跡は、室町時代から戦国時代前半、北東北最大の戦国大名三戸南部氏の居館で、馬淵川左岸の奥州街道と鹿角街道が交差する要衝に築かれました。天文8年(1539)火災による焼失を機に、三戸城(三戸町)に居城を移すまで、この地を拠点に勢力を拡大しました。近年、城館中心部分の発掘調査が進み、東北最大の掘立柱建物跡や国内最大級の土橋跡等が確認され、現在も発掘調査が継続して行われています。



名久井岳を一望



東北最大級の門柱跡

近年の発掘調査において、東北最大級となる1辺45cm×50cmの柱の痕跡が確認されており、巨大な門の存在が伺われます。



大型井戸跡

長軸が6～7mもある大型の井戸跡。1539年の城館焼失の際に捨てられたものと考えられる、大量の炭化物や熱を受けた陶磁器などが発見されています。



犬型土製品

平成30年に出土した犬型土製品。安産祈願のお守りと考えられています。北東北では唯一の発見です。長さ6.8cm。

新発見!!

御城印を貼ってください

見学



ドキドキ☆発掘見学

毎年5月のゴールデンウィーク明けから、11月上旬にかけて行われている発掘調査は、随時見学可能です。(事前に史跡聖寿寺館跡案内所へお問い合わせください)



Check Point



1 南部利康霊屋は、寛永9年(1632)創建の27代利直の四男の霊屋。江戸時代初期の桃山建築が取り入れられ豪華絢爛です。2 史跡聖寿寺館跡案内所には、城館から出土した国内屈指の高級陶磁器や武具等の品々、解説パネルを展示しています。3 向鶴銅製目貫金具 - 南部氏の家紋「向鶴」が刻まれた最古の製品で、刀の柄に施された装飾品。一円玉ほどの円が連なり、向かいあった鶴が彫られています。縦1.3cm、横2.6cm。4 ウサギ型銅製目貫金具 - ウサギが後ろを振り返っている様子の刀の柄に施された装飾品。長さ3.5cm。



家紋入り♡



史跡聖寿寺館跡案内所にある自動販売機は要チェック!

聖寿寺館跡御城印

弘前市在住の書道家中堂佳音氏による「聖寿寺館跡」の文字と、聖寿寺館を築城したとされる13代南部守行の肖像画に描かれた南部氏の家紋「向鶴」を用いています。

南部家祥の地へおいで♪



ボランティアガイドが史跡聖寿寺館跡を無料で案内してくれます。10日前の事前予約が必要です。

□史跡聖寿寺館跡案内所(「御城印」販売場所)

住所 / 南部町小向字正寿寺81-2 TEL.0179-23-4711
 開所時間 / 9:00～16:30
 定休日 / 12月29日～1月3日
 利用料 / 史跡聖寿寺館跡や霊屋の見学者は無料でご利用いただけます

□国指定重要文化財 南部利康霊屋

住所 / 南部町小向字正寿寺62-1 TEL.0179-23-4711
 拝観時間 / 9:00～16:00 定休日 / 史跡聖寿寺館跡案内所と同じ
 拝観料 / 高校生以上300円 中学生以下無料



三戸城

Sannohejou



- ・所在地：三戸町梅内字城ノ下
- ・城主：三戸南部氏
- ・年代：15世紀～17世紀

三戸城は、三戸市街地の東端、馬淵川と熊原川の浸食と隆起によって形成された標高約131mの河岸段丘上に築かれました。天文8年(1539)の「聖寿寺館」焼失後、三戸南部氏は三戸城を拠点とし、天正19年(1591)に福岡城(九戸城)へ居城を移すまで、戦国動乱の中、北奥羽一帯を治めました。現在は三戸城跡城山公園として整備され、1,600本のサクラが咲き誇る青森県南随一のサクラの名所となっています。



城の大手(正面)である綱門跡から、鳩門跡→樺門跡→大門跡を通り、山頂部の本丸跡(現駐車場)まで、歩いて登城できるルートが整備されていて、城跡散策を楽しめます。

当時の面影が残っている



城跡内には、県内では珍しい門の礎石や石垣を見ることができます。城の裏門である鍛冶屋門跡の石垣は、三戸城の堅固な防備が感じられます。



本丸跡石垣

新発見!!

令和元年、城山公園イベント広場の地下から本丸跡石垣が発見され、話題となりました。

御城印を貼ってください

体験



ワクワク☆鎧で変身

三戸町立歴史民俗資料館では、戦国時代の鎧の着装体験ができます。記念撮影のみもOK! 資料館の開館時間に体験ができ、無料です。(イベント等で出張中の場合もあるため、着装を希望する方は、事前にお問い合わせください。)



Check Point



- 1 城山公園内は、初夏のつつじやあじさい、夏の新緑、秋の紅葉などが楽しめ、ゆっくりとした時間を過ごしたい人におすすめです。
- 2 城山公園の北東端に位置する望岳亭からは、名久井岳と旧奥州街道を一望できます。
- 3 4 三戸町立歴史民俗資料館は、三戸城温故館・郷土館・資料館の3館で構成されており、温故館には南部氏の武具や装束、古文書歴史資料等を展示しています。また、日・祝日には資料解説員が常駐しています。

三戸町立歴史民俗資料館(「御城印」販売場所)

住所 / 三戸町梅内字城ノ下34-29 TEL.0179-22-2739

開館時間 / 9:00~16:00

休館日 / 月曜(祝日は除く)、祝日の翌日*翌年3月までは冬期休館

入館料 / 一般220円、大学生・高校生110円、小中学生60円



遊びに来て♡



公園内には、かわいい鹿に会える鹿園もあります。

三戸城御城印

盛岡南部家第46代南部利文氏の揮毫による「三戸城」の文字と、南部家の定紋「向鶴紋」を使用。「割菱紋」は古い時代の南部家の紋とされています。

糠部神社のご神木だよ



江戸時代の三戸城絵図にも描かれている城山の杉。樹齢800年以上とされています。

九戸城(福岡城)

Kunohejou (fukuokajou)



写真提供：二戸市埋蔵文化財センター

続日本
100
名城

国
史跡

- ・所在地：二戸市福岡字城内、松の丸
- ・城主：九戸氏、三戸南部氏
- ・年代：明応年間(1492~1501)~寛永13年(1636)

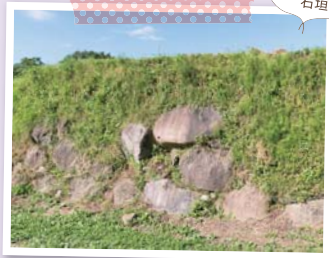
九戸城は、馬淵川と白鳥川、猫淵川を外堀とし、河岸段丘上に築城した平山城で、天正19年(1591)、豊臣秀吉天下統一の最後の合戦場となった場所です。城主・九戸政実率いる籠城軍5千は、6万の豊臣軍に包囲され、豊臣軍からの偽りの和議を受け入れたことで落城しました。その後近世城郭に改修、「福岡城」に改名され、盛岡城に本拠を移すまでの間、三戸南部氏の本城となりました。現在は、九戸政実の気概を偲び九戸城と呼ばれています。



東北最古の
石垣



九戸城エントランス広場の東側には土塁と堀跡があり、その先に本丸を望むことができます。



東北最古といわれる本丸の石垣は、天正19年(1591)の落城直後に豊臣政権によって築かれたものです。



写真提供：
二戸市埋蔵文化財センター

二の丸南側の切崖には、十和田湖噴火の際に堆積した火山灰とその熱で炭となった木を見ることができます。

御城印を貼ってください

注目



写真提供：二戸地域振興センター

九戸政実武将隊

豊臣秀吉の天下統一最後の相手とされる九戸政実をPRするため結成された「九戸政実武将隊」。甲冑に身を包み、イベント等にて演武や殺陣を披露しています。



Check Point



1 桜の名所となっている二の丸跡。満開の桜が城跡を彩ります。2 史跡公園として整備されているので、ゆっくり散策が楽しめます。3 昭和14年(1939)、リンゴ狩りに訪れた詩人・土井晩翠が九戸城の悲話を聞き、書き記したとされる「荒城の月」の書を刻んだ碑です(荒城の月の石碑が設置された城は、九戸城のほか全国に3か所あります)。4 ガイドハウスには、九戸城に関する説明パネルや映像を設置しています。ガイドと一緒に城内を巡ってみるのもおすすめです。



ローマ字の創始者・田中館愛橘の詩碑、探してみて!

九戸城御城印

市内の書家による「九戸城」の文字と、九戸氏の菩提寺である長興寺の寺紋及び九戸家ゆかりの九戸神社の神紋である「九曜紋」を用いています。

一緒に巡って
ガイドします



ボランティアガイドが九戸城跡を無料で案内してくれます。ガイドは1週間前までの完全予約制です。

二戸市埋蔵文化財センター(「御城印」販売場所)

住所/二戸市福岡字八幡下11-1 TEL.0195-23-8020
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土日を除く)、12月29日~1月3日
観覧料/一般50円、小中学生20円



九戸城ガイドハウス

住所/二戸市福岡城内3-3
開館日/4月中旬~11月末 開場時間/10:00~15:00
問い合わせ先/二戸市観光協会 TEL.0195-23-3641

